

# 日本仏教社会福祉学会 ニュースレター No.15

■平成23年6月30日

■発行・編集 日本仏教社会福祉学会 事務局

## CONTENTS

- ・平成23年度日本仏教社会福祉学会第1回理事・役員会報告
- ・日本仏教社会福祉学会 第46回大会・総会のご案内
- ・学会連合総会及びシンポジウム報告
- ・日本仏教社会福祉学会震災対応プロジェクトについて
- ・会員の皆様へお知らせ
- ・事務局からのお知らせ

### 日本仏教社会福祉学会

発行日：平成23年6月30日

発行：日本仏教社会福祉学会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学 アーバン福祉学科

ソーシャルワーク専攻事務室内

TEL：03-3918-7311 (代)

FAX：03-5394-3057

E-Mail:ohdai-sw@tais-shafuku.sakura.ne.jp

## 平成23年度 日本仏教社会福祉学会 第1回理事・役員会報告

日時：平成23年4月23日(土) 14時～17時

場所：大正大学 7号館7階

### 出席者

代表理事 石川 到覚

個人理事 長谷川 匡俊、清水 海隆  
村井 龍治、佐賀枝 夏文、  
田宮 仁、宮城 洋一郎

団体理事 金子 保、三友 量順  
徳岡 博巳、小島 恵昭  
多田 孝文(代理 落合崇志)

監 事 梅原 基雄、池上 要靖

### オブザーバー

名誉会員 中垣 昌美

『仏教社会福祉 入門編』編集委員会 清水 教恵  
旧事務局 渡邊 義昭  
新事務局 鷺見 宗信、赤坂 真樹、野島 恵里

### 欠席者

個人理事 山口 幸照、田代俊孝、菊池 正治  
団体理事 長上 深雪、林 俊光、近藤 祐昭

### 前代表理事挨拶

長谷川匡俊前代表理事より、新旧交代の挨拶をいただいた。

### 代表理事挨拶

石川到覚代表理事より、新任挨拶後、東日本大震災歿故者の追悼のための黙祷をし、新事務局の紹介があった。

### 1. 事務局報告

日本仏教社会福祉学会規定に従い、本日の理事会は成立。

### 2. 議事

理事会の成立が報告され、石川代表理事を議長に議事が進められた。

### 第1号議案 会員の異動について

事務局より新入会員について3名の報告があり、審議の後それぞれ承認された。

### 新入会員承認について(順不同)

1. 河村 諒
  2. 小辻 寿規
  3. 目黒 達哉
- 以上3名

### 退会会員承認について(順不同)

1. 東 一英
  2. 山本 善裕
  3. 村中 祐生(死亡退会)
- 以上3名



石川到覚 新代表理事

### 第2号議案 平成22年度決算および監査について

事務局より決算書についての説明の後、梅原基雄監事より監査の報告がなされた。

特に平成22年度学術賞・奨励賞の該当がなかったため、副賞の経費やホームページ作成料の支出が次年度の支出となる等についての説明がなされ、平成22年度決算について承認された。

### 第3号議案：担当理事及び委員会構成について

代表理事より各担当理事及び委員会構成についての就任の要請がなされた。

#### 担当理事

1. 年報編集担当理事 佐賀枝 夏文
2. 研究担当理事 村井 龍治、清水 海隆
3. 庶務担当理事 落合 崇志

#### 委員会

1. 編集委員会 佐賀枝 夏文、藤森 雄介、  
小笠原 慶彰、福島 栄寿
2. 査読委員会 佐賀枝 夏文 他23名
3. 『仏教社会福祉 入門編』編集委員会  
清水 教恵 他
4. 日本仏教社会福祉学会50周年事業委員会  
研究担当理事が兼務

以上、新担当理事及び委員会構成について承認された。

### 第4号議案：学会連合の震災対応委員会について

事務局より、東日本大震災をうけて社会福祉系学会連合からの要請で、委員の出席を求められ、藤森雄介前事務局長が対応し、アンケート報告及び5月28日のシンポジウム開催の報告がなされた。

議長より、震災対応委員として藤森雄介会員を委員に推薦したい旨、また本学会として震災を受けてどのような活動を行っていくかについて意見を求めた。

長谷川理事より、被災地の仏教福祉的な支

援の研究調査については本学会としてプロジェクトチームを作り、地域を特定して3年程度の期間で報告書を作成、検証していくことの提案があった。また活動資金については基金100万円を取り崩して予算化を図ること。さらに、学会連合の震災対応委員の藤森会員を本会震災対応委員会の委員長に推薦することになった。（理事会後、藤森会員が承諾。）

### 第5号議案 学会50周年記念事業について

議長より、本件に関して資金として学会基金の取り崩し、及び予算化に当たり担当理事より事業計画について、議案4号と同じく100万円の基金取り崩し及び日本仏教社会福祉学会50周年事業委員委員長を清水海隆理事にお願いし、次回理事会までに事業計画を提案してもらう事が了承された。

### 第6号議案 平成23年度第46回大会について

村井理事より、平成23年9月3日(土)・4日(日)龍谷大学大宮学舎にて、児童虐待についてのシンポジウムを予定している。理事会は2日(金)にお願いしたいとの提案があった。

長谷川理事より、大会の中で震災対応のプロジェクトチームの報告及び各会員の被災地支援研究の報告会のような特別部会を4日午後に設ける提案に対し、特別部会の内容について本会震災対応委員会の委員長藤森会員と大会校とで調整の上、特別部会開催について了承された。

### 第7号議案：平成24年度 第47回大会について

事務局より第47回大会について華頂大学及び華頂短期大学による共催で、大会事務局は野田隆生会員が務める旨を報告した。

また、第48回大会は同朋大学に検討をお願いし、第49回大会は大正大学、第50回大会は立正大学が担当することが了承された。

第8号議案：各担当理事報告

1) 編集担当理事より

第42号年報進捗状況、出版社の変更、書評掲載について報告された。

佐賀枝理事より、不二出版の事情により販売は継続できるが、編集については辞退したいと連絡が本年初めにあった。急なことであり石川代表理事よりご紹介をいただき白峰社にて編集をお願いした。また書評の書籍については事務局で保管しブックリストを作成していただきたい。また出版されて書籍については是非事務局まで連絡と寄贈をお願いしたい。

議長より、不二出版の申し入れもあり、前事務局と協議して、法蔵館、白峰社と見積もりを取り、学会事務局が東京となることなども踏まえ白峰社とした報告を受け、了承された。

2) 研究担当理事より

50周年事業に関する計画について、次回理事会での計画の提出及び委員会の構成は担当委員長に一任することが了承された。

3) 『仏教社会福祉 入門編』編集委員会より

進捗状況について報告がされた。

清水教恵委員長より、提出原稿を委員会で検討し、各執筆の先生方に再度の整理・調整をお願いしている状況である。

なお、出版元である法蔵館担当者から9月刊行を目指して作業をしている旨が報告された。

4) 庶務担当理事及び事務局より

ニュースレターの内容の掲載、年報バックナンバー販売先へのリンクなどを予定している。6月中にはホームページを開きたい。

また、平成23年度アジア仏教社会福祉学術

交流基金研究助成については申し込みはなく、平成24年度研究成果公開事業については、5月末が期限であるため次回理事会で報告を行いたい。

5) 中垣名誉会員より

仏教系大学の社会福祉コースで仏教福祉関連科目の設置と50周年までの間に国際的な新しい社会福祉の概念、ソーシャルワークと社会開発の関連などに対して仏教的な視点を持った本学会の取り組みをお願いしたい。また本会の特色として賛助会員が多い。会員だけでなく賛助会員などによる今回の震災への対応や活動などの情報を収集して学会連合へ報告していただきたい。

すべての議事を終了し、平成23年度第1回理事会を閉会。

(以上 文責 事務局)

日本仏教社会福祉学会  
第46回大会・総会のご案内

日程 平成23年9月3日(土)～4日(日)  
会場 龍谷大学大宮キャンパス  
京都市下京区七条通

大宮東入大工町125-1

詳細は、大会開催校である龍谷大学より、会員各位に案内が届きます。

また本大会では、1日目午後本学会の年次総会が開催されます。

学会連合総会及び  
シンポジウム報告

2011年5月28日、東洋大学白山第2キャンパスにおいて本学会加盟の日本社会福祉学会連合の2010年度総会及びシンポジウムが開催された。総会では、野口定久会長から2010年

度事業・決算・監査報告があり、今後、当学会連合では「東日本大震災対応委員会」が中心となって災害対応に関する記録化及び調査を実施し、その成果をまとめて提言することになった。また、シンポジウムでは、日本社会福祉学会の都築光一理事が東日本大震災の被災地の状況や課題、日本子ども家庭福祉学会の西郷泰之事務局長が南三陸町での被災家庭の状況と課題、日本医療社会福祉学会の武田加代子理事が阪神淡路大震災におけるソーシャルワーク活動などの取り組みを報告し論議が交わされた。

(石川基樹記)

## 日本仏教社会福祉学会 震災対応プロジェクトについて

本年3月11日の東日本の大震災により多くの方が被災をされました。現在多くのボランティアや地元の皆様が協力して支援活動を行いながら生活再生に取り組んでいます。本学会の支援については、研究とその成果を社会に還元することにあると考えました。

そこで「日本仏教社会福祉学会震災対応プロジェクト」チームを作り、被災地の記録をまとめていくこと、また本学会ならではの仏教的視点を持った支援のあり方、寺院を拠点とした活動のあり方について考えていきたいと思えます。日本仏教社会福祉学会震災対応プロジェクト委員長は淑徳大学の藤森雄介会員（兼務、社会福祉学会系学会連合「東日本大震災対応委員会」委員）が務めます。調査協力や情報提供等会員の皆様にはご協力をお願いすることがあると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。なお今年の第46回京都大会（龍谷大学）において報告部会を開催する予定です。

## 会員の皆様へお知らせ

### 1. 住所変更に関するお願い

新年度になり、ご所属・ご住所などの変更があった方は、事務局までご連絡下さい。事務局からの発送物がメール便のため、住所の変更がありますと、届かない場合もあります。

お手数ですが住所変更などの手続きは遺漏なくお願いいたします。

### 2. 学会費納入のお願い

平成23年度分の学会費納入の振込用紙を同封させていただいております。過去3年以上未納の場合、退会扱いになる場合もございます。詳しくは、同封の「会費納入のお願い」をご覧ください。ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

## 事務局からのお知らせ

本年度より本会事務局が淑徳大学から大正大学へと変更になりました。淑徳大学の藤森先生・渡邊先生には2期に渡り事務局を務めていただきました。本当にありがとうございました。新事務局は大正大学アーバン福祉学科内に設置されております。事務局員一同学会の事務を引き受けるのは初めての仕事です。色々と不手際が出て会員の皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



落合崇志 庶務理事



鷲見宗信 新事務局長

事務担当 梶原

事務担当 赤坂

(事務局長 鷲見宗信記)